

非正規労働者の「発言」の拡大とキャリアアップ

—非正規労働者の雇用のあり方に関する調査研究報告書—

「非正規労働者の雇用のあり方に関する調査研究委員会」（*主査）

*佐藤 厚（法政大学キャリア デザイン学部教授）	阿部 正浩（独協大学経済学部教授）
池添 弘邦（労働政策研究・研修機構 副主任研究員）	木村 琢磨（法政大学キャリア デザイン学部専任講師）
佐野 嘉秀（法政大学経営学部准教授）	山根木晴久（連合非正規労働センター 総全局長）

連合総研では、2008年度から2年間にわたり研究委員会を設置し、非正規労働者について、その労働の質、賃金等の処遇の実態を踏まえつつ、現場における「声」（発言）がどのように対処されているかなど苦情処理の現状と問題点を把握しながら、仕事のあり方（役割と連携）、その処遇と雇用保障の問題について調べることにより、非正規労働者の雇用改善の課題について検討を行った。

本調査研究の特徴は、これまであまり実態が把握されなかった非正規労働者個人や労働組合等の対応について、アンケート調査とヒアリングによって実態の把握を行ったところにある。そして、非正規労働者の労働環境の改善のためには、非正規労働者の発言機能の改善のチャンネル、非正規労働者のプロモーション機能の改善のチャンネル、必要な法的規制によるチャンネルのそれぞれが重層的に効果を発揮することが必要であることなどを提言している。

目次

総論

第1章 非正規労働者の発言ニーズとキャリア志向

第2章 非正規労働者の苦情処理と職場でのコミュニケーション

第3章 非正規労働者の人事管理と企業内キャリア・問題解決行動

第4章 正規・非正規間格差と労働組合

第5章 非正規労働者に関する労働法制度上の課題-アンケート調査結果の分析から-

第6章 非正規雇用問題を連合運動の中心的課題に据える

《参考資料編》

1. ヒアリング事例概要
2. アンケート調査概要